

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果の概要について

札幌市立 ひばりが丘小学校

令和7年4月に全国の6年生を対象に行われました『全国学力・学習状況調査』の結果の概要をまとめましたので、改善の方向性と併せてお知らせいたします。

本調査は、全国的な児童の学力や学習状況を把握、分析し、学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的としています。今回の学力・学習状況調査の結果についても、全国の結果と比較・分析し本校の教育活動に生かしてまいります。

なお、対象学年は6年生ですが、調査の結果から明確になった課題は、本校児童全体の課題として捉え、改善していきたいと考えています。



児童に対する質問紙調査の結果（国語と算数以外）から

全国平均と比べて

改善の方向

(◎すごく良かった点・○良かった点・▲改善が必要な点)



- 毎日同じくらいの時刻に起きている。
- 朝食を毎朝食べている。
- ▲毎日同じくらいの時刻に寝ている。
- ◎健康に過ごすために学習したことを生活に役立てている。

「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣については、元気に学校生活を送る上で大切なことです。朝の生活リズムや食事に対する意識は高く、子ども自身の健康に対する意識も非常に高いので、学習に関わる項目の結果にも成果がよく表れています。ただし、寝る時刻が安定していない傾向があり、成長に欠かせない睡眠が不足気味だということが想定されます。生活習慣は、子どもたちの学習にも影響する大事な土台です。学習への効果がより高まるように引き続きご家庭の生活習慣定着へのご協力をお願いいたします。

- ◎人の役に立つ人間になりたいと思う。
- 人が困っているときは、進んで助けている。
- ▲将来の夢や目標をもっている。
- ▲自分には、よいところがあると思う。

6年生は、各行事や委員会、クラブなど学校のリーダーとして、最高学年として、自覚と責任をもって活動していることがよく分かる結果です。また、人の役に立つことよきや価値を十分意識できていて、進んで助けようとする行動力に長けた子どもたちです。一方で自分に対しての自己肯定感がやや低く、目標をもって活動する意識が低めの傾向があります。学校では、日々の活動の振り返りを大切にしながら、次の目標に向かって努力する機会を充実させていきます。また、日々の活動を即時評価し、認め励ますと共に、自分でも頑張りや成長を実感できるように、中学校区の近隣校やご家庭とも連携しながら地域一体となって自己肯定感の向上に力を入れます。

- ◎分からないときに ICT 機器ですぐ調べることができる。
- ◎課題解決に向けて、自ら考え、取り組んでいる。
- ▲学習した内容について見直し、次の学習につなげることができる。

一人一台端末については、本校では、学習だけでなく、委員会やクラブ、長期休業の課題、シャボテンログ等、幅広く活用している状況です。自ら考えて学習に向かう姿勢もよく身に付いています。ただ、結果を見ると、時間ごとの学習への主体性には優れていますが、見直す、生かす、つなげる力に課題が見られます。学校ではクロームブックが主ですが、子どもたちの身の回りには、パソコンや携帯電話等 ICT 機器が溢れています。便利な道具は、使い方次第で大きな効果も発しますが、リスクも大きくなります。本校でも、携帯電話の使いすぎにおける生活習慣の崩れや SNS によるトラブルの発生などが後を絶ちません。効果も使い方次第です。学校では、3学期にネットモラルの出前授業を低学年から実施することにしました。使用に関する指導を随時行い、ICT の効果的活用に関心をもち、日常の学びの質を高めながら、学ぶ楽しさを実感できる学習指導を目指していきます。子ども自身が正しい判断をしながら使用することはまだまだ難しい年齢です。ご家庭でも使用に関するきまりや約束の確認をお願いします。



- 学活で話し合いを通して、互いの意見のよさを生かしている、自分で努力することを決めている。
- ▲道徳で、自分の考えを深める。
- ▲総合的な学習の時間で、課題を立て、情報を集めて整理・発表する。

互いの考えのよさへの気付きや目標をもって努力する姿勢が伸びています。一方で、道徳的な価値観に関する育ちや整理して伝えることの未熟さが伺えます。深い学びを実現するためには、土台作りが重要です。気付きや努力する姿勢を生かしながら、土台作りのための日常指導や授業実践に力を入れていきます。ご家庭でも日常的な声掛けやモラルへの意識付けなどにご協力をお願いいたします。

※国語、算数、理科については、次のページ以降に詳細を記載

【国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

本校の概要

【学習指導要領の内容】

□【知識及び技能】の

「我が国の言語文化に関する事項」、
「情報の扱い方に関する事項」

「言葉の特徴や使い方に関する事項」
の全てで、

全国平均と比べ、上回っているが、
「我が国の言語文化に関する事項」
の区分では、他の区分と比べて上回
っているポイントの幅が小さい。

□【思考力、判断力、表現力等】の

「話すこと・聞くこと」では、

全国平均と比べ、ほぼ同程度だがや
や下回っている。

「読むこと」では、

全国平均と比べ、上回っているが、
全国平均同様、正答率が半分以下の
問題が見られる。

今回の調査における課題

【知識及び技能】

「我が国の言語文化に関する事項」

- 時間の経過による言葉の変化や
世代による言葉の違いに気付く。

【思考力、判断力、表現力等】

「話すこと・聞くこと」

- 自分が聞こうとする意図に応じて、
話の内容を捉える。

「読むこと」

- 目的に応じて、文章と図表などを
結び付けるなどして、必要な情報
を見付ける。

改善の方向

○語句の由来などに関心をもてる
ように、時代や世代による言葉の違
いから、言葉についての認識を広げ
るとともに、自分の言語生活を見直
す活動の充実。

○グループ学習を効果的に生かし
ながら、話し手と聞き手が交互に考
えたことをつなげて創作する言語
活動を設定したり尋ね合う活動を通
して、話し手の考えと比較しながら、
共通点や相違点に着目して聞く活
動の充実。

○主張と事例など情報と情報との
関係について理解し、事実と感想、
意見などとの関係を、叙述をもとに
押さえ、文章全体の構成を捉えて
要旨を把握する活動の充実

教科の枠を越えた横断的な学びの場の検討。日常的な話し合い活動や伝え合う活動の設定と目的に応じた情報と叙述を結び付ける読みの経験を積み上げる活動の充実。

注目!



児童質問紙の回答結果より

- 国語の勉強が、好きですか。
- 国語の勉強は、得意ですか。
- 国語の授業の内容は、よく分かりますか。
- 国語の授業で、学習したことは、

将来、社会に出た時に役に立つと思いますか。

国語は、上の4項目で全て全国平均を上回っており、日常の学習が積み上がり、基礎基本がよく定着している状況です。さらに、学習の理解において、全国平均から30pt以上高いことから、本校で取り組んでいる学習指導についても十分な成果が出ていることがよく分かります。子どもの学習への意欲も高く、今後の生活に生かそうする人間性もよく育っています。意欲が高い状態は、学びに向かう最高のチャンスです。より一層基礎基本の定着に力を入れることはもちろん、全国平均よりも低くなっている話すこと・聞くこと・書くことを中心に、活動の機会や時間を確保していきたいと考えています。また、その意識を最大限活用するために、国語はもちろん、全ての教育活動において、日常からも伝え合いや話し合いの場の設定や叙述と情報を結びつける体験を充実させながら、主体的で対話的な学びを通して、課題を解決していけるよう授業改善を行っていきます。

本校 **35.1 p t** 全国 24.1 p t

本校 **24.6 p t** 全国 21.3 p t

本校 **56.1 p t** 全国 35.9 p t

本校 **64.9 p t** 全国 55.9 p t

【算数】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

本校の概要

【学習指導要領の領域】

「数と計算」

全国平均と比べ、上回っている。

「図形」

全国平均と比べ、上回っている。

「変化と関係」

全国平均と比べ、上回っている。

「データと活用」

全国平均と比べ、上回っている。

今回の調査における課題

「数と計算」

- 分数の加法の計算の仕方の理解や単位分数を見出し、いくつ分であるかを数や言葉を用いて記述すること。

「図形」

- 角の大きさについての理解

「変化と関係」

- 伴って変わる2つの数量関係に着目し、必要な数量を見出す。

「データ活用」

- 目的に応じて適切なグラフを選択して、その理由を言葉や数を用いて記述する。

改善の方向

○問題場面の数量関係を簡潔かつ一般的に表現する活動や整数だけでなく、小数や分数などに数の範囲を広げながら見通しをもって学習する活動の充実。

○目的に応じて、基本的な図形と捉えたり、それらの図形に分割した形として捉えたりするなど、数学的活動を十分に取り入れながら、多面的に考える活動を充実。

○表や式、グラフを用いて、それらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見出すとともに、それらを日常生活に生かそうとする活動を充実。

○適切な表やグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉えたり、身近な題材から解決すべき問題を設定したりし、様々な観点からデータを見直す活動の充実。

身の周りにある事象や生活と結び付けながら、数学的活動を通して活動数量や図形についての豊かな感覚を育てると共に、表現したことを多面的に捉える力を育む授業づくりを進めます。



児童質問紙の回答結果より

本校 <u>57.9pt.</u>	全国 33.7pt.
本校 <u>38.6pt.</u>	全国 31.2pt.
本校 <u>49.1pt.</u>	全国 41.7pt.
本校 <u>56.1pt.</u>	全国 49.0pt.

本校 43.9pt. 全国 45.8pt.

- 算数の勉強は好きですか。
- 算数の勉強は得意ですか。
- 算数の授業の内容はよく分かりますか。
- 学習したことを普段の生活で活用しようとしていますか。
- 問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。

全領域で、全国平均を上回っており国語の学習と比べ、更に高い数値の結果が出ている傾向が見られます。学習したことをその後の学習で活用しながら、基礎基本の力がよく身に付いていることが伺えます。また、難しい課題に出会っても、諦めずに粘り強く取り組み、高い目標をもって、学びに向かう姿勢が育っています。そのような本校の児童の素晴らしい資質を生かしつつ、「分かる。」「できる。」を更に実感できるよう、協働的な学びや個別最適な学びに力を入れていきます。そのために、ICTの効果的活用や数学的活動の充実、多面的で見通しをもちやすい学びの要素等を豊富に取り入れながら学習活動を展開していきます。